



広報

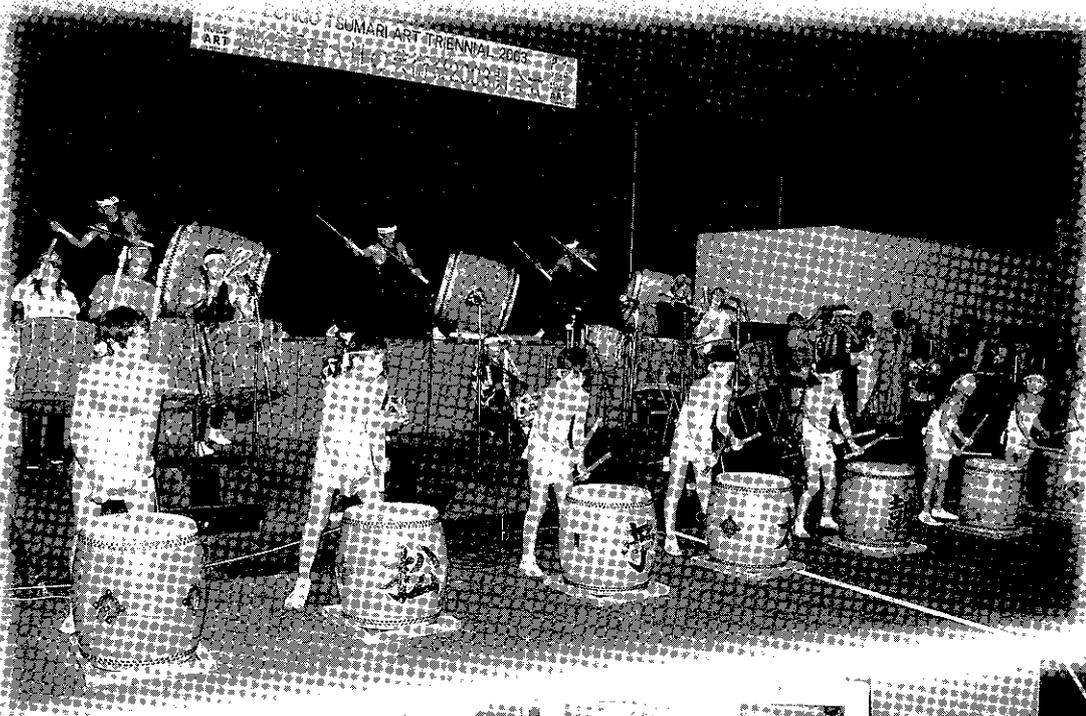
# まわだい

2003

# 9

No. 526

平成15年9月15日



夢の共演。勇壮なハチさばきをみせる鬼太鼓座と松平太鼓。

## たくさんのお 感動をありがとう



「越後妻有大地の芸術祭2003」が50日の開催期間を経て閉幕した。9月7日、まつだい雪国農耕文化村センターピロティーで開かれた閉会式には、平山征夫知事をはじめ開催市町村などから約六百人が参加し芸術祭の閉会を惜しんだ。

### 主な内容

- 大地の芸術祭閉幕.....②～④
- かまぼこ型倉庫再発見—最終回—.....⑤
- 合併任意協議会.....⑥～⑦
- 東京発/松代の自然/おーい、ニッポン.....⑧～⑨
- 十日町地域衛生施設組合・住民課からのお知らせ.....⑩～⑪
- 善意をありがとう/図書館だよりほか.....⑫～⑬
- 文芸/お知らせ/町の行事予定ほか.....⑭～⑮

■松代町役場  
 〒942-1592 新潟県東頸城郡松代町大字松代3252番地1  
 TEL 02559-7-2220  
 FAX 02559-7-2526・7-2300  
 URL 松代町 <http://www.town.matsudai.nigata.jp/>  
 広報編集 <http://www.echigo-matsudai.com/>

# ありがとう こへび隊



里創プラン

大地の芸術祭という

宝物



三年後の開催にふくらむ期待

「思い起こせば、アツという間の五十日間でした。多くの方に芸術祭を楽しんでいただき感謝申し上げます。越後妻有大地の芸術祭2003閉会式で関谷達治町長は、感慨深くあいさつした。

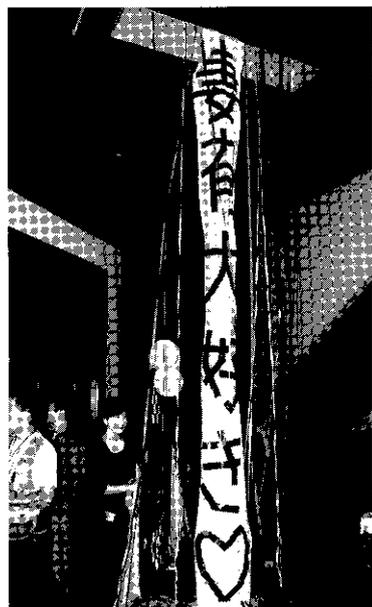
今回の芸術祭には、前回に比べ三割程度増えた約二十万人が鑑賞に来訪したとの見通しだ。十日町市・松之山町・松代町で建設された文化村センターなどのステージ整備や期間中数多く開催されたワークショップなど今回の芸術祭を特徴づける企画が、好評を呼んだことが大きな要因だ。

この芸術祭の盛会を受け、関谷町長は「私たちは平山県知事から里創プラン(芸術祭)

という宝物をいただいた

た。この宝物を地域活性化のために有意義に活用したい」とあいさつに力を込めた。

また、芸術祭開催六市町村の首長全員があいさつの中で、「第三回日の芸術祭開催への予算付けを、ぜひお願いしたい」と平山征夫県知事に要望し、これに対し県知事は「三年後も続けられるよう工夫していきたい。」と述べ、会場から大きな声援を受けた。



# 大地の芸術祭記念音楽祭

8月16日



IE(家)「動く彫刻」

10,000のステップで綴る記憶：



今年で10回を数えるミュージックキャンプのファイナルコンサートは、文化村センターピロティで行われた。須川辰也さんほか講師陣とミュージックキャンプの生徒ら32名で構成された「大地の芸術祭吹奏楽団」がコンサートのフィナーレを飾った。

音・映像・演舞で伝えたアート

## 芸術祭を実感させた イベントの数々



コンテンポラリーダンス  
7月31日

「儀明／劇場」(中瀬康志：作)は、作家と儀明の集落民とが協働で催しを行い、集落の交流の場としていく。



「棚田波さ」(出演：波さ知らズ)  
9月3日

ジャズの領域を越えた演奏は、集まった若者を魅了した。



ヘリ・ドノ「ゴールデンバツファロー・プロジェクト」  
〔インドネシア〕  
〈8月10日〉

### 田んぼ パフォーマンス

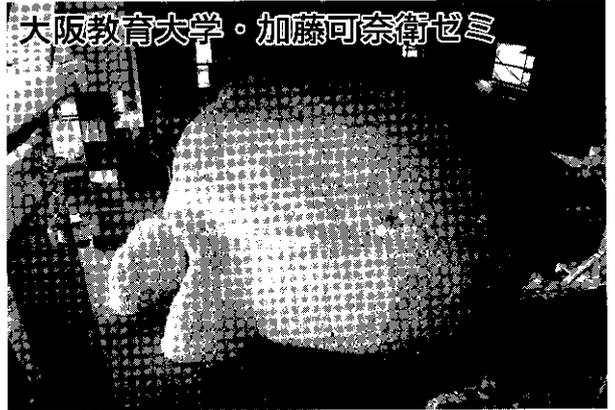
セツ・スズキ「TAUE PROJECT」  
〔日本〕  
〈7月6日〉



作品制作の傍ら、地域のお祭灯籠の作成に協力。



上越教育大学・西村俊夫ゼミ



大阪教育大学・加藤可奈衛ゼミ

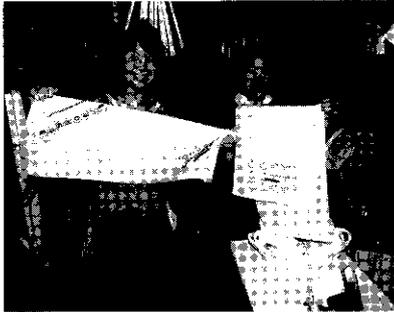


## ワクワク! わくわく! 芸術祭

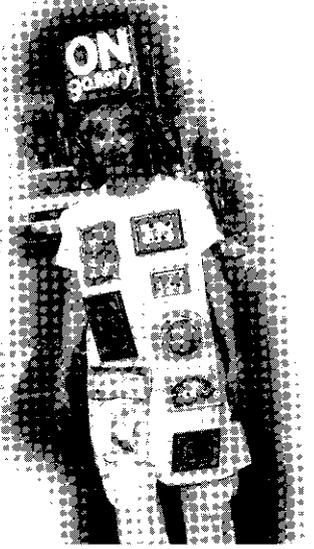
汗と涙の結晶。トウモロコシ製の緩衝材を積み上げた真夏のかまくらも完成をむかえた。

白塗りの商品にプリントされた言葉が人を引く。ワークショップではその言葉を手ぬぐいにもプリントした。

大阪教育大学・星憲司ゼミ



秋好恩さん「ONギヤラリー」。  
移動画廊? 作家さん自身が美術館に。圏域を移動するこの作品は、なかなかスタンプが押せない。



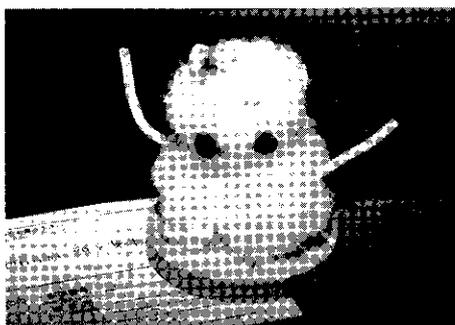
Dream Factory  
ドリームファクトリー



ドリームポストは希望の品を作るドリームファクトリーに(写真右二人目が中谷さん)

「ドリームポスト」。専用のハガキに、子どもたちが描いたオリジナル切手を貼って出す。ハガキには、欲しいものを書く。「幸せ」、「平和」、「やさしい心」、「希望」。このような抽象的な要望をも造形として具体化させなければならぬ。この企画に加わった和歌山大学の中谷悦也さんは「私

「やわらかい頭と身体がほしい」。「夢の続きが見られる枕をください」。投函者が要望する品物は、ちよつと子どもたちを悩ませるものもある。だが、それが子どもたちの創造性を掻き立てるのだ。



子供たちは「やわらかい頭と身体」を綿を使って表現した

だ終わらない。

投函されたハガキ約七百通。海外に送るものも十点ほどある。8月19日の松代小学校でのワークショップで子供たちが一人二点ずつ作り、残りは大学生が学校で作る。「全部作っ

て送り届けるのは、お正月になるかもしれませんが、がんばります」。膨大なハガキの前に、品物作りに奮闘する中谷さんたちの芸術祭は、まだまだ終わらない。

## かまぼこ型倉庫再発見8(美術家・小沢剛)

おざわつよし

かまぼこ型倉庫は、完璧な形だ。いっさいの無駄がなく、誰にも媚びてはいない。だから美しい。

## 最終回

陽一が最近、夏の家族旅行計画をする密かなる目的は、かつて自分が工事に関わったトンネル付近を車で旅行をすることだ。仕事柄転勤も多く、いままで住んだことがある場所に行つて、「ここに飯場があった」だの、「この酒屋でツケで買ったな」などと記憶をたぐるのが面白いのだが、女房や子どもにすこぶる評判が悪

い。それもそのはず、多くのトンネル付近は、どこも山の中で、いわゆるレジャーとしての楽しみは薄いからだ。そして今年、車が向かった先は、ほくほく線工事のため二年間を過ごした、鍋立山トンネルのある松代町だ。

そのころは自分のことを「土塊職人ですから」と、少々謙虚めいて言っていたが、大きな誇りをもっていた。なぜな

ら、世界的難工事の一つと言われたこの鍋立山トンネルの工事に関わったからだ。この工事は実に二十年近くの年月がかかった。特に、難工事となった七百メートルの区間は特殊な土質で、作業員を悩ませた。空気に触れると土が膨張し、何十メートルも手前に押し戻されてしまう



のだ。土留めの鉄板や機械がオモチャのようにグニャグニャに曲がり、何度も作業員を危険にさらした。過去に例を見ない現象に工事技術も追いつかず、一日平均二十センチメートルしか進まない壮絶な現場であった。

電車も通り街並も変わった今、松代を訪れて車の中から最初に目付いたのは、あちらこちらにかまぼこ型の倉庫が建っていることだ。ここでトンネルを掘っている当時、他の作業員と使用済みの支保工を使っていくつかこのような倉庫を建てたことがあった。誰のアイデアだったのか思いつけないが、豪雪地帯であるこの地では、頑丈で最高の形態ではないかと感じつつ作ったことを思い出す。それが二十年後にここまで町中の至る所に普及していることに驚きを覚えた。

当時、よく漬け物や果物の差し入れをしてくれた地元の人

自分と同じように多くの人が待ちわびていること、中には着工にこぎつけるのに尽力を注いだ知り合いもいたという。「オレが生きているうちにぜひお願いします」と言っただけで帰っていったことがあった。あの時の老人は今でも元気なのだろうか？ 開通時には立ち会えたのだろうか。

町の変化は、倉庫だけではない。あちらこちらに不思議なものがあった。なんでも大地の芸術祭とかいうイベントで、よく分からないが「作品」と呼ばれるものをあちらこちらに見つけることができたことだ。私たち家族は好奇心をくすぐる作品探しの時間を共有できた。三年後にも芸術祭がこの地域であるということだが、私たちはまたこの町を訪れるだろう。ほんの数年前に訪れただけの小さな町だが、また何か動き出しそうな確かな胎動を感じるからだ。車の窓を開けた。ヒグラシの鳴き声と、少し涼しい空気が入ってきた。秋の匂いがした。

（取材協力 若井好平さん）  
（完）

二年前、初めて下見に松代を訪れたときのことだ。見知らぬ老人が「あんた、次の芸術祭に参加しなさんだって?」「はい」と答えると堰を切ったように一回目の芸術祭批判を始めた。最後に「楽しみにしているから、いい作品を作ってくれよ。」と別れたわけだが、ほくほくは老人が満足してくれる作品が作れたのだろうか？

叱咤激励を受け、町に入り込むことを機軸にリサーチを繰り返して、歴史的データが蓄積されるうちにこの町の魅力に取り付かれ、今回創作した作品のみならずこの連載執筆にまで私の身体は動いた。何かに押されて、自分としては持てる力を出し切った。

作品を作る過程でたくさんの人のお世話になった。この紙面を借りて感謝したい。「ありがとうーそしてまたお会いしましょうー!」

大地の芸術祭を終えて

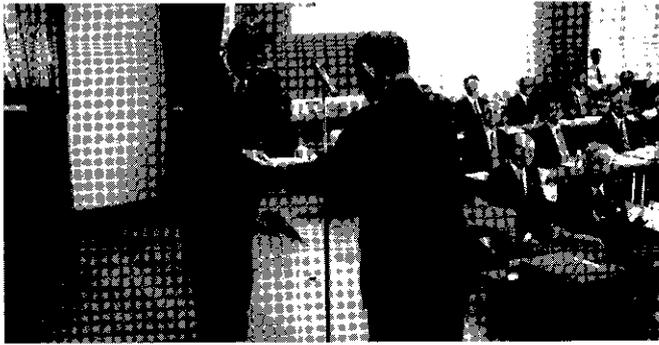
美術家 小沢剛

# 第8回十日町広域圏

## 合併任意協議会

開催日 9月2日(火)  
会場 川西町総合センター

延べ十回にわたる新市将来構想検討委員会での協議を終え、このほど山本会長に新市将来構想が答申されました。「雪・自然・農が織りなす 温もりと躍動のまち」を新市の将来像に掲げ、この地域の風土に即した社会づくり、人づくり、産業づくりなど、新たなまちづくりに向けての個々の基本目標が承認されました。また、新市の名称案の公募要領も承認され、9月24日から約一ヶ月間、広く応募を募ります。(次ページに公募のご案内を掲載)



山本会長に答申書を渡す高津富士男新市将来構想検討委員長(左)

### 議案1 新市将来構想の決定について

新市将来構想検討委員会の答申どおり承認された。(新市将来構想の概要については、広報7月号と協会だよりに掲載。なお、ダイジェスト版が10月中旬、各戸に配布されます。)

### 議案2 事務事業の協議について

(※は議案の決定内容)  
除雪関係 住民負担をめぐり差し戻し

### (1) 克雪利雪関係事業

① 町内委託(補助)除雪、小雪パイプ除雪、流雪溝整備の受益者負担  
現在、十日町市のみ機械除雪や消雪パイプ除雪について一定の住民負担を求めている。これに対し「合併時は現行のとおりとし、住民負担については合併後五年を目処に検討する」との方針提案がなされたが、調査・検討を要することとして差し戻しとなった。

② 流雪溝整備の受益者負担  
市町村道に付帯する流雪溝整備に係る住民負担割合については、各市町とも差があるため除雪問題と同様に調査・検討を要することとして差し戻しとなった。

③ 克雪住宅整備助成  
克雪住宅協調調整事業については、新潟県の補助制度が継続する間は現状維持とし、その後は新市において検討する。克雪住宅の集団的整備事業については現状維持とする。

④ 個人住民税の賦課  
合併により新市の人口が

### (2) 住民税に関すること

約六万五千人となるため、均等割は標準税率の二千五百円とする。(現在二千五百円とする。)(現在二千五百円)納期は6月、8月、10月、12月の四期とする。

② 法人住民税の賦課  
法人税割の税率を制限税率の14.7%(現在12.3%)とする。ただし、合併年度の翌年度から五年間は不均一課税とし、段階的(14.7%を下回る町村においては三年間据え置き、四年目に13.5%、六年目に14.7%)に負担調整を行う。

③ 入湯税の賦課  
宿泊しない者を五十円、宿泊する者を百円(現在百五十円)とする。課税免除については、新市において調整する。

④ 宿泊しない者を五十円、宿泊する者を百円(現在百五十円)とする。課税免除については、新市において調整する。

### (3) 固定資産税に関すること

① 固定資産税の賦課  
税法に基づく課税から、現行のとおりとする。納期については、5月、7月、9月、11月の四期とする。

② 都市計画税の賦課  
十日町市のみ課税で、合併後も現行のとおりとする。

③ 軽自動車税の賦課

④ 税法に基づく課税から、現行のとおりとする。

### (4) 学校教育関係事業

① 奨学金制度  
月額で、高等学校(専修学校高等課程含む)一万円、高等専門学校二万円、専修学校(専門課程)三万円、大学(短大含む)三万五千元を貸付する。また、修学一時金(貸付限度五十万円)を創設する。合併前に貸付決定されたものは、旧市町村の制度を継続する。

② 学区に関すること  
現行のとおりとする。(松代町は小学校三区、中学校一区)

### 第9回十日町広域圏合併任意協議会開催のお知らせ

日時：9月19日(金) 午後1時30分～  
会場：松代町 総合センター

#### <議案>

- ・事務事業協議について
- ・大字・行政区名、生活交通について
- ・水道・下水道料金について
- ・国保税(料)について など

# 新市の名称案を公募します

松代町、十日町市、川西町、中里村及び松之山町の5市町村が合併するとした場合の新市の名称としてふさわしい名称案を募集します。

**<公募期間>**

9月24日(水)～10月26日(日)

**<応募方法>**

次のいずれかの方法でご応募ください。

- ①専用はがき ②官製はがき ③封書
- ④ファクシミリ ⑤Eメール

※専用はがきは9月発行の協議会だより第8号に付いています。応募箱を役場及びふるさと会館内に設置しますのでご投函ください。郵送もできます(郵送料は応募者の負担)。

**<記載内容>**

- ・新市の名称案(漢字の場合はふりがな)。また、その由来や理由もあれば記入してください。
- ・応募者の住所、氏名 を記入してください。

**<応募制限>**

- ・応募資格の制限はありません。
- ・応募1枚につき1点の記入とし、複数枚応募可。
- ・名称案は、漢字、ひらがな、カタカナ、またはこれらの組み合わせにより表記してください。
- ・公序良俗に反する名称、長すぎる名称などは応募できません。

**<応募先・問い合わせ>**

十日町広域圏合併任意協議会事務局

〒948-0085 十日町市寅甲1-1

TEL 0257-52-7725 FAX 0257-52-7726

Eメール: [to-gappei@iris.ocn.ne.jp](mailto:to-gappei@iris.ocn.ne.jp)

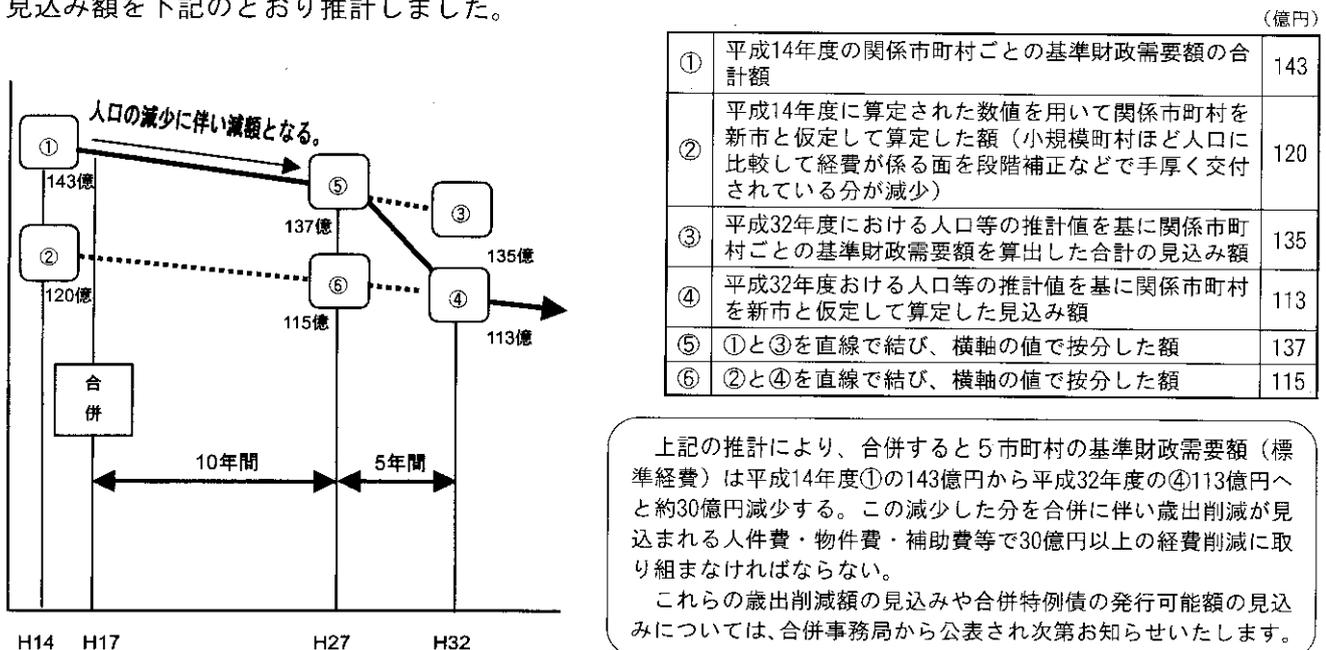
ホームページ: <http://www11.ocn.ne.jp/~t-gappei/>

○応募の詳細は協議会だより第8号をご覧ください。

※公募は個々の名称案ごとの数を競うものではないため、名称案別の応募数は公表しません。  
 ※新市の名称に採用された方には記念品を贈呈します。(該当者複数の場合は抽選)

## 普通交付税に係る基準財政需要額(公債費で措置される分を除く)の推計

合併により、普通交付税が減額になりますが、特例措置により合併後10年間は、合併しないものとして算出した額が保障され、その後段階的に5年間で削減されます。このことから、シミュレーションでは、平成17年に合併するものとして平成32年を一つの基準年として考える必要があるため、起債の借入に伴う元利償還金の交付税措置(公債費)を除いた基準財政需要額(その市町村で必要な標準経費)の見込み額を下記のとおり推計しました。





# よもぎ会 十周年

## 若井 広次

栃木県佐野市在住

(蓬平 久八)

私が十九歳の頃、蓬平の

実家はなくなりました。それから故郷が遠い存在となつてしまひ淋しい気がしていました。しかし、北魚沼産の良き妻とよもぎ会にめぐり逢ひ、新しい故郷ができたように幸せでした。

よもぎ会は蓬平小学校の閉校式という悲しいときに産声をあげました。「東京によもぎ会を作るんだ」という産声です。それから若井謙一氏が中心となり、同年代の人二十一人で幹事会を結成してはじまりました。第一回目は上野近くの「吉池(よしいけ)」で行いました。もう一生逢えないと思つていたような人にも逢え、手を握り、のどが痛くなるまで語るといふ感動の連続で、会の発足に深く感謝しました。

そんな中、私は十周年に

記念誌を作ろうと発起人となりました。手紙や電話で

寄稿のお願いに埼玉や新潟などあちこちと足を運びましたが、時間が足りず予定の半分しか原稿をいただくことができませんでした。

でも、中身のすばらしい原稿が届きました。若井幸さんがよもぎ会発足の思い入れを感慨深く書いてくださったり、たくさんのイラストが入ったりと、すばらしい記念誌ができあがりしました。お金をかけず全てコピーで済ませ、幹事が集まつて一冊ずつ手づくりの製本にしました。蓬平の集落に

も一冊ずつ配り、喜んでいただきました。

さて、よもぎ会十周年の様子ですが、六月二十二日上野精養軒で盛大に開かれました。東京松代会会長をはじめ役員の方々と峰方ふるさと会の役員、そして蓬平からもたくさんのお客さんを迎え、百二十名にもなる大祝賀会となりました。

マイクの声も届かぬほどの賑やかさ。かくし芸、盆踊り、福引きとたいへんな盛り上がりでした。母の同級生の小堺正さん(95歳)が今年も元気に踊りを披露してくださり、亡き母も天国から拍手を贈っていたことだと思ひます。

こんなに成長したよもぎ会も、この先がたいへんだと思ひます。この燃えた火をたやさぬよう、住所録や郷土愛の絆を大切にしてい



### 東京だより

#### 読書法展に入選

第二十回読書法展に次の方が入選されました。

柳重次(伊沢)篆刻部門

宮田諒子(松代)かな部門

作品は、8月13日、19日までサンシャイン文化会館東京展で展示されてい

た。かなければなりません。また、他の集落の見本となつて松代町の発展にもつなげられればと思ひます。

最後に、八月二日のNHKラジオ「昼の憩い」で、堀川クサノさんの文から、よもぎ会の記念誌のことが放送されました。ものすごく嬉しくたくさんの人の顔を思い浮かべ、感謝しまし



よもぎ会創立10周年記念 (6月22日: 上野精養軒)

# 松代の自然

## ハグロトンボ



「平成十五年八月十日」。この日は松代町大字芋島の集落の人たちにとっては、忘れられない慌しくも幸せな充実した一日になったことでしょう。

NHKBS第二テレビでの『おーいニッポン今日はどことん新潟』の中で、舞台の一つとして放映されていました。それで時ならぬ生放送の機材やスタッフが大勢出入りして、お祭り騒ぎなんでもでない賑わいに沸きに沸いていました。私も『わが町の良寛さん』のコーナーで、徳田章・乾貴美子アナウンサーと掛け合いながら、ガムの木（ヤブデマリ）とオ（カラムシ）の説明をするという設定で出演をしました。

舞台近くには赤い立派な永久橋があり、それを渡った渋海川のゆるい流れの川原には、片葉のアシが交じったヨシ原がありました。

出演の打ち合わせやリハーサルでたびたび芋島集落を訪れ、その場所を何度か通りかかったときも、また撮影で大勢の人たちが混雑している中でも、真つ黒い翅をしたか弱いトンボがヒラヒラと縫うように飛び走り廻っていました。

ある人からあるときに「この辺にチョウトンボがいますか。このあいだ黒い蝶々のようなトンボが見えました」と質問されたことがあります。これは多分このトンボのことだったのだろうと思いません。チョウトンボという蝶々のようなトンボは松代町では見られず、おもに平野部に生息するものなのです。

この黒い翅をしたトンボはハグロトンボといい、カワトンボ科の一種で俗にオハグロトンボとかノノサマトンボと呼ばれるものなのです。八月ごろに発生するので、ちょうどこの撮影の真つ最中に発生して、それに巻き込まれたかたちで人ごみの中にまで紛れ込んだものでしょう。

仲間の透明な翅や橙色の翅をしたヒガシカワトンボは春の山菜シーズンに発生して、小川のふちなどに夢を見るような姿で飛びます。

(文 高橋八十八)

あomorい  
新潟県  
今日は どころん  
NHK BS2 8月10日 放送

芋島集落では自慢の山菜料理を紹介

蒔平集落 夏の稲刈りとしめ縄作り

芋島集落に伝わる神楽を披露

表1

可燃ゴミ処理量

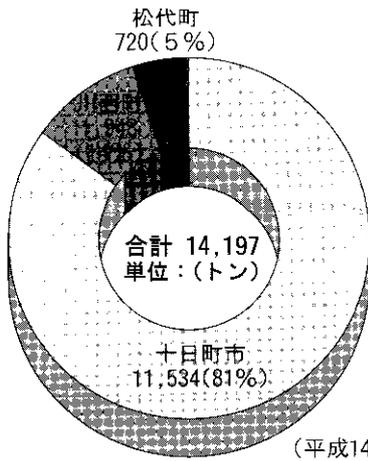
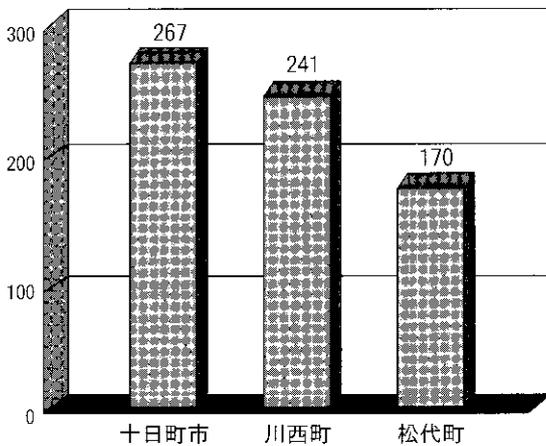


表2 可燃ゴミの人口一人あたり処理量(kg)



# 十日町地域衛生施設組合からの お知らせ

問い合わせ先：十日町地域衛生施設組合(TEL0257-52-3924)

十日町地域衛生施設組合での資源ごみの分別収集を始めて一年あまり経ちます。各集落では、輪番制での収集場所の見回りや、鳥獣・風雨対策用の小屋を設けるなどして、それぞれ事情に合った適切な管理が行われています。

## 平成14年度の 可燃ゴミの処分量は

十日町地域衛生施設組合では、松代町のほか十日町市と川西町で排出されるごみの処理が行われていて、資源ごみのリサイクルや可燃ゴミの焼却など、毎日膨大な量の処理が行われています。

平成14年度に組合で焼却した可燃ゴミは約一万四、〇〇〇トで、そのうち約5%のゴミが松代町から出されています。



## ダイオキシン類排出濃度測定結果の お知らせ

十日町地域衛生施設組合では、6月18日にゴミ焼却処理施設(エコクリーンセンター)から排出されるダイオキシン類の測定を行いました。

その結果、エコクリーンセンターの排ガスから検出されたダイオキシン類の濃度は、1号炉1.2ng(ナノグラム:1ngは10億分の1g)・2号炉1.1ngでした。この濃度の値は環境省が恒久対策基準(平成14年12月1日提示)として示している5.0ngを下回る結果です。

## 資源ゴミのリサイクル 分別収集の徹底を

ダイオキシン類の発生を抑えるためにはゴミ減量化、資源ゴミのリサイクルなどを推進するとともに施設の適切な維持管理運営を行う必要があります。

これからも廃棄物処理の安全対策について万全を期しますので、皆さんの一層のご理解とご協力をお願いします。

## パソコンの回収・ リサイクルについて

10月1日からメーカーによる回収を義務付けた「家庭系使用済パソコンリサイクル法」が、始まります。

10月以降に購入されるパソコンには、回収費用が製品価格に上乗せされます。現在、使用されているパソコンの処分については、再資源化のためメーカーが一定額のリサイクル費用を徴収しますので購入店か専門店に依頼してください。

パソコンに記憶された情報の漏洩防止については、個人の責任となります。リサイクルに出す場合は、記憶媒体にドリルなどで穴を開けるなど部分的に壊すことも一つの対策となります。

## 「ほくほくの里」からのお知らせ

### 特別養護老人ホーム「ほくほくの里」

#### 入所申込について

特別養護老人ホームへの入所については、申込順によらず必要性の高い方から入所できるよう県の指針が定められています。

「ほくほくの里」でもその指針にそって透明性・公平性を確保しながら入所判定を行っています。

以下に当施設の入所指針の概要をお伝えするとともに、ご利用申し込み手続きの方法をご案内します。

〔介護支援専門員意見書〕は、基本的に担当のケアマネジャーが記入します。〕

#### 〈3〉入所順位の決定

申し込みを受け、以下の点について入所検討委員会が討議されます。

- ①入所の必要性  
(評価基準表により点数化されています)
- ②当施設の入所対応能力
- ③その他(個々の特殊事情など)

#### 〈1〉入所検討委員会

施設職員や県立松代病院医師など関係機関の職員12名で構成する検討委員会が入所順位を決定します。

#### 〈2〉申し込み方法

「ほくほくの里」入所申し込み用紙に必要事項を記入のうえ、「介護支援専門員意見書」を添えて申し込みください。

## 住民課からのお知らせ

### 介護保険係からのお知らせ

65歳以上で介護保険料を年金からの差し引き納付(特別徴収)となっている方に、「平成15年度介護保険料特別徴収開始通知書」をお届けしました。10月からの介護保険料額をお知らせしていますが、所得段階区分が変わった方は、いままでの金額と大きく変更されています。詳しくは、住民課介護保険係へお問い合わせください。

### 9月1日から国民健康保険被保険者証(保険証)が「青色」に更新されました。

今までお使いいただいた「ピンク色」の被保険証は有効期限切れのため使用できませんのでご注意願います。なお、昨年までは古い被保険者証は回収していましたが、本年度から回収しませんので、各世帯で処分していただくようお願いいたします。医療機関へは新しい「青色」の被保険者証を提示してください。

### 保育ヘルパー育成セミナー開催

いろいろな行事に参加したい、講演会に出かけたい……と思っても子どもを預けることができないため、我慢したりあきらめたりしている子育て中の人たちがいます。

そうした人たちが、心置きなく活動できるように保育のお手伝いをするのが「保育ヘルパー」です。

このセミナーでは、子どもたちを預かることに知っておきたい基礎知識を学びます。なお、資格取得や就職のあっせんはできません。

■会場 十日町市公民館本館  
TEL 0257-57-5011

■対象者 これから保育ヘルパーとして活動したいと考えている方で、松代町を含む十日町圏域にお住まいの方。年齢・性別は問いません。

■定員 先着30人 ■受講料 無料

■申込方法 電話またはハガキ・FAXで氏名、住所、生年月日、電話番号を明記のうえ9月30日(火)までにお申し込みください。

■申込先 十日町市健康福祉課児童家庭係  
TEL 0257-57-3111(内線131)  
FAX 57-3800

■プログラム 10月16日(木)、21日(火)、23日(木)、28日(火)、30日(土)の計5回。午前9時30分～11時30分まで、子どもとのかかわり方や保育ヘルパーの活動について講義します。

## 平成15年度住宅・土地統計調査にご協力ください

### ■住宅・土地統計調査とは

10月1日に全国一斉に住宅・土地統計調査が行われます。この調査は、住宅・土地に関する国の最も基本的な調査で、五年ごとに行われています。

この調査の結果は、豊かでゆとりある社会を実現するため、国や地方公共団体の行政施策を企画・立案するうえで、重要な基礎資料になります。

### ■調査をお願いするお宅には9月下旬に調査員がお伺いします。

町内の一部のお宅に調査員が調査表の記入にお伺いします。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

- ・この調査結果は法律により統計以外の目的には利用しません。
- ・調査員には県知事発行の調査員証が交付され、常時携帯しています。

総務省統計局  
新潟県・松代町

## 法務行政相談所開設

10月1日～7日までの「法の日週間」にちなみ、法務局・人権擁護委員協議会・司法書士会・土地家屋調査士会の共催で法務行政相談所が開設されます。相談内容等は下記のとおりで、内容に応じてそれぞれの担当が無料で相談に応じます。秘密は厳守されますので、お気軽にご相談ください。

日 時：10月6日(月)午前10時～午後3時

会 場：川西町総合センター

相談の内容：①土地・家屋の売買、相続・抵当権設定・土地の分筆・合筆、地目変更、建物の新築・増築・滅失などの不動産登記および土地の境界など

②会社の設立、役員変更などの会社・法人登記

③結婚・離婚・養子縁組や国籍取得

④地代、家賃などの供託

⑤家庭内、親族間、近隣間のもめごと・いじめ・不登校・体罰・不当な差別、虐待などの人権問題

⑦多重債務 など

## 10月は『土地月間』です

### 利用してこそ生きる土地 —情報化時代の土地活用—

一定面積以上の土地取引には届出が必要です。

国土利用計画法では、国土の適正かつ合理的な土地利用の確保を図るため、法定面積以上の土地取引を行った場合、契約締結日(予約を含む)から2週間以内に土地の所在する市町村を經由して都道府県知事に届出をすることを義務付けています。

- 【届出義務者】権利取得者(売買なら買主)
- 【届出時期】契約締結日から2週間以内
- 【届出場所】土地の所在する町役場
- 【届出事項】①土地売買等の当事者②土地の所在③利用目的④対価など
- 【法定面積】①市街化区域⇒2,000㎡以上  
②市街化区域を除く都市計画区域⇒5,000㎡以上  
③都市計画区域以外の区域⇒10,000㎡以上

※個々の取引面積は小さくても、土地の総面積が上記の面積以上になる場合には、届出が必要になります。

問い合わせは、役場企画振興課まで

## 『地域インストラクター伝え方講習会』開催

体験型観光は全国的な取組みとなりつつあり、地域間競争も起こっています。

つまりは、受入れの更なる向上が求められていて、なかでも地域インストラクターのレベルアップと絶対数の確保は交流拡大にむけ必要不可欠です。

このことをふまえ、県では次のような講習会を開催します。体験交流のインストラクターに意欲のある住民の方やインストラクターとして活躍中で更にレベルアップを目指したい住民の方はふるってご参加ください。

### 『地域インストラクター伝え方講習会』

～お客康とのコミュニケーション能力や伝え方のレベルアップのための手法を伝授します～

◇開催日時：《1日目》10月23日(木)9:30～17:30

《2日目》10月24日(金)9:00～16:30

◇会 場：《1日目》安塚町町民会館大会議室

《2日目》体験プログラム実践会場

◇内 容：《1日目》インストラクターに求められる必要条件(伝え方と話し方、プログラム進行の方法など)

《2日目》体験プログラム実践

(自然環境、味覚工芸など)

◇申し込み：10月8日(水)までに役場企画振興課田舎体験担当まで(TEL7-2220)

《主催》新潟県安塚地区振興事務所TEL2-3852

## 第21回東頸城郡 高齢者スポーツ大会

8月26日、松代町総合体育館で東頸城郡高齢者スポーツ大会が行われました。郡内六町村からそれぞれ予選を勝ち進んだ469名が7種の競技に挑み、熱戦を繰り広げました。結果は下記のとおりです。

- 1位：大島村      2位：安塚町  
3位：浦川原村   4位：松代町  
5位：牧 村      6位：松之山町



松代町から出場の室野チームを代表して、村山寿平次さんが選手宣誓を行った。

## みなさんの善意「ありがとう」



24時間テレビ「愛は地球を救う」のチャリティーキャンペーンに、今年もたくさんの方から募金にご協力をいただき、総額110,368円が寄せられました。キャンペーンが行われたふるさと



ボランティア協力する松代高校家庭クラブのみなさん

と会館前では、炎天下のなか松代高校家庭クラブ役員の皆さん12人がボランティアで、募金の呼びかけに協力をしてくださいました。

「愛は地球を救う」チャリティーキャンペーン  
8月23日～24日



【休館日】  
毎週 月曜日・祝祭日  
8月15・16日は、お盆休み  
【開館時間】  
毎週 火～金 13:00～18:00  
土・日 10:00～17:00

【電話】 7-2615  
【ホームページアドレス】  
<http://www.9.ocn.ne.jp/~m-tosho/>  
【メールアドレス】  
m-tosyo@beach.ocn.ne.jp

### ◆ 新しい本の紹介 ◆

\*\*\* 一般 \*\*\*

|                |         |
|----------------|---------|
| 迷宮百年の睡魔        | 森 博嗣    |
| 父からの手紙         | 小杉 健治   |
| 口伝 我が人生の辞      | 石原裕次郎   |
| 冬のソナタ(上・下)     | キム・ウニ   |
| ハヴンアイズ         | D・アーモンド |
| あなたが世界を変える日    | カリス・スズキ |
| 盲導犬クイールの一生     | 石黒 謙吾   |
| 海上自衛隊はこうして生まれた | NHK     |
| カラフルアップリケの     |         |
| フェルトのバッグ&小物    |         |

\*\*\* えほん・じどう \*\*\*

|               |       |
|---------------|-------|
| このゆびとまれ       | 平出 衛  |
| ぐりとぐらのかいすいよく  | 中川李枝子 |
| おばけうんどうかい     | 矢玉 四郎 |
| はりねずみイガー・カイジー | おのりえん |
| つるばら村のくるみさん   | 茂市久美子 |
| ねらわれた学園       | 眉村 卓  |

### 【お知らせ】

「お話の会」と「ビデオ上映会」  
9月27日(土)10:30～  
たくさんの方々のお越しをお待ち  
しています!

1冊  
「あなたが世界を変える日」  
セヴァン・カリス・スズキ 著  
11年前のリオ地球環境サミットで、当時12歳の少女が世界の首脳を前にして語ったスピーチ。わずか6分間のスピーチでしたが、人々に強い感動を呼び、世界中を駆けめぐり「伝説のスピーチ」と呼ばれるようになりました。「豊かさ」とか「便利さ」とかのために、ほんとうの事やあたりまえの事が、わからなくなっているのではないのでしょうか?  
(学陽書房発行)

短歌

左膝痛み癒すと朝ごとに  
んねん灸の十個を据える

本山 祖道

七値の誦す大般若観音祭の  
スピーカーの音がその声を  
消す

市川 辰雄

草取りの手の追いつかず雑  
草に詫びて兵器の除草剤ま

柳 こめ

信濃河畔数十万の人集い大  
地をゆるがす三尺の華

笠原 トミ

かけ込んで「朝顔咲いた」  
と母に言う少年は息強くは

小堺 良治

磨かれて大地に置ける球状  
の黒曜石に映るわが影

野石 念

蒲生句会

山里に音だけ届く火花かな

山路

甲子園汗が涙に変わりけり

良治

一匹の蚊に晩年の血を吸わ

翔山

目こぼしの胡瓜太らせ妻老

耕山

稲も人もすくむ冷夏を憂え

朴雪

葉鶏頭重たき雨の降りつつ

鐵堂

耳鳴りも生きてる証輝しぐ

耕人

先づ婆の踊ってみせし手振

龍峰

しづみ俳句会

初蟬や孫のハイハイ速くな

八千代

吾が肩に蟬飛んで来て鳴き

紅茶

背に青田前に清流他石句碑

六花

炉櫃の磨き抜かれし夏炉か

淡水

他石師の句碑を祀りて涼し

とし子

句碑除幕夏鶯の祝ぐ谷に

枯水

信濃路に入れればほのぼの

公鳴

城川の句碑渡り来し風涼し

草人

お知らせ

芝峠温泉2号井 順調に掘削中

6月から開始した、芝峠温泉2号井の掘削は、8月末現在で500mに達していて、11月の温泉噴出にむけて順調に作業が進められています。

県有地売却のお知らせ

県では今年度、つぎの県有地の売却を予定しています。ご希望の方は県教育庁財務課までご連絡ください。

【土地の所在】

松代町大字太平字蒲生田

599番地2ほか3筆

(松代高等学校寄宿舎跡地の一部)

【面積】

2,523.52㎡(建物つき)

【連絡先】

新潟県教育庁 財務課施設係 黒崎

(TEL025-285-5511

内線3816)

第一回

伊沢和紙 ほたる展 犬伏宿 開催



世界にたった一つしかない あなたのだけの灯りを作りましょう

開催日時：平成15年11月2日(土)

午後5時～午後9時

会場：松茸神社参道 和紙工房 樺

申し込み先：主催 犬伏けやきの会

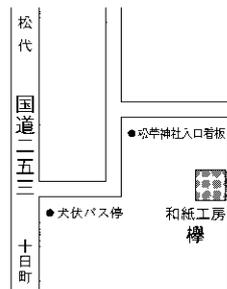
新潟県東頸城郡松代町大字犬伏

TEL・FAX 02559-56692

大賞その他特別賞など沢山の賞品を用意しています。

第一回伊沢和紙ほたる展 募集要項

- ◎一般部門 小・中学生部門があります。
- ◎出品数限定なし
- ◎大きさは1m×1m×1m以下
- ◎必ず伊沢和紙を使用してください。
- ◎灯りは電球を使用してください
- ◎申し込みまたは、明細はFAXか電話で
- ◎申し込み締め切り 10月25日
- ◎搬入は11月1日必着



人口の動き

|     |         |             |
|-----|---------|-------------|
| 男   | 2,043人  | (-1人)       |
| 女   | 2,191人  | (+1人)       |
| 計   | 4,234人  | (+0人)       |
| 世帯数 | 1,483世帯 | (+0世帯)      |
| 出生  | 0人      | 死亡 1人       |
| 転入  | 5人      | 転出 4人       |
|     |         | (15年8月末日現在) |

戸籍窓  
(8月1日～8月31日)  
幸せ多い人生を(婚姻)  
山賀 将司・渡邊 順子  
(池之畑・いずみや)  
ご冥福を祈ります(死亡)  
小嶋美江子  
(太平・ゆうきや) 49歳

# 町の行事予定 (9・10月)

# お知らせ

|          |  |
|----------|--|
| 21日      |  |
| 22日(月)   |  |
| 23日(火)   | 秋分の日   |
| 24日(水)   | 第11回新市将来構想検討委員会 中里村総合センター<br>新市名称案の公募開始(10月26日まで)<br>松代幕府 交通安全関所 ふるさと会館 15:00~ |
| 25日(木)   |  |
| 26日(金)   | 東頸城郡中学校駅伝大会<br>心配ごと相談 ディサービスセンター 9:00~   |
| 27日(土)   | 町民登山「赤城山」6:30 役場集合<br>東頸城郡中学校科学展 松代中学校(30日まで)                                  |
| 28日(日)   |  |
| 29日(月)   |  |
| 30日(火)   | 東頸城郡中学校科学発表会 松代中学校<br>三種・二種混合予防接種 松代小学校 13:30~                                 |
| 10/1日(水) | 法の日週間(7日まで)  |
| 2日(木)    |  |
| 3日(金)    | 心配ごと相談 ディサービスセンター 9:00~  |
| 4日(土)    | 24時間耐久リレーマラソン 12:00スタート(5日まで)<br>里親デー  |
| 5日(日)    | ほくほくの里 バスハイク   |
| 6日(月)    | 法務行政相談 川西町総合センター 10:00~15:00   |
| 7日(火)    | すくすく教室 ミニミニ運動会 総合体育館 9:00~<br>ポリオ投与 総合センター 13:30~                              |
| 8日(水)    |  |
| 9日(木)    | 松寿大学 研修旅行(10日まで)<br>寒露   |
| 10日(金)   | 第12回新市将来構想検討委員会 川西町総合センター<br>心配ごと相談 ディサービスセンター 9:00~                           |
| 11日(土)   | わくわくチャレンジ「秋のハイキング」   |
| 12日(日)   |  |
| 13日(月)   | 体育の日   |
| 14日(火)   |  |
| 15日(水)   |  |
| 16日(木)   | 保育ヘルパー育成セミナー 十日町市公民館   |
| 17日(金)   | 心配ごと相談 ディサービスセンター 9:00~  |
| 18日(土)   |  |
| 19日(日)   |  |
| 20日(月)   | 第13回新市将来構想検討委員会 十日町市保健センター   |

## 編集後記

大地の芸術祭の閉会式、各市町村長がそれぞれのあいさつでこへび隊へのねぎらいの言葉を重ねた。▼来年開催予定の横浜トリエンナーレの延期が危惧されているようだ。開催場所の確保が難しいらしい。三年後、妻有地域での第三回目の芸術祭の開催は、地域が熱く要望する限り何とかかなりそんな感だ。しかし、問題はその後にあると思う。イベント開催には予算が必要だ。しかし、金の切れ目が縁の切れ目では済まされない。尻押しなき予算の中での工夫が必要だ。第四回目は地域が造らなくてはならない。こへび隊のように舞台上で主役を演じ、一方で裏方として支え役に走る。今回の芸術祭で活躍したこへび隊約600名。第三回目の開催では彼等彼女等の活動ノウハウを吸収すべく芸術祭を見るというのはどうだろうか。一つの歴史が終わっては、本来目指すところの活性化にはつながらない。承らえてこそ、芸術祭はこの地域の金字塔になりえる。

## 巡回無料法律相談の開催(予約制)

新潟県弁護士会並びに(財)法律扶助協会による法律相談センターの活動の一環として、弁護士による巡回無料法律相談が実施されます。相談は1人30分程度で予約制となっていますのでご希望の方はお申込みください。

日時：10月29日(水) 9時~12時

場所：ふるさと会館 3階 応接室

予約申込み・問い合わせ先：10月22日(水)までに

松代町役場総務課 (TEL 7-2220) にお申込みください。

## じん肺の所見がある方に発生した肺がんの労災補償について

じん肺の所見がある方(じん肺管理区分が管理2、管理3又は管理4と決定された方)に発生した原発性肺がんについては、これまで管理3又は管理4の方が労災補償の対象となっていました。平成14年11月11日以降は、管理2の方も対象となりましたのでお知らせします。

このことに関する労災補償制度や手続きについての詳細は、十日町労働基準監督署労災係 (TEL 0257-52 2079) へお問い合わせください。

## 「法の日」司法書士無料相談会の開催

新潟県司法書士会では、10月1日の「法の日」にちなんで、会員各事務所において下記のとおり無料相談会を開催します。

期間：10月1日(水)から10月7日(火)まで

(平日の執務時間において)

場所：県内各司法書士事務所

内容：訴訟、登記、供託等に関する法律相談

問い合わせ：新潟県司法書士会 (新潟市古町通13番町5160番地)

TEL 025-228-1589 (FAX 025 223-2270)

## 給水装置工事配管技能者講習会を行います

配水管から水道メータまでの給水装置工事については、適切な技能を有する者が施工しなければなりません。

このため(財)給水工事技術振興財団では、給水装置工事について適切な技能者を養成するため「給水装置工事配管技能者講習会」を行います。

開催期日：11月15日(土)

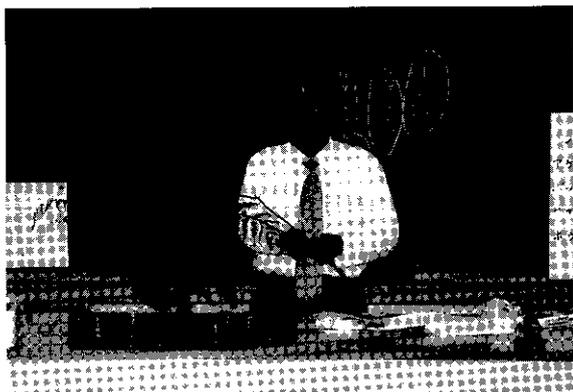
講習会場：学科課程 新潟市職員研修所

実技課程 新潟市水道局

受講料：35,000円

申込み・問い合わせ：10月3日(金)までに、新潟県水道工事業協同組合連合会 (TEL 025-267-1865) へ提出してください。

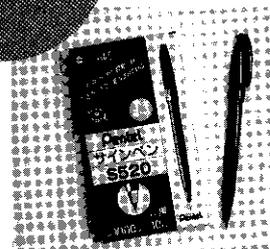
お じ や ま し ま す



教壇に立つ関谷文平さん

〈松代小学校版〉

# 先輩！ ようこそ



アポロ11号に持ち込まれ月に  
行った「Pentelサインペン」

絵の具やクレヨンなどのメーカーとして名高い「株ペンテル」で商品の開発に努め、「Pentelサインペン」など数々のヒット商品を世に出した関谷さんは、松代町千年の出身。じきに80歳をむかえます。

「松代の学校で、松代のみならず、松代にあるものを使って絵の具やクレヨンなどを作るのが夢だった」。黒板を背にした教壇で身振り手振りを交えながら、児童たちに熱く語る関谷さんの声は、二つ離れた教室にいても聞こえてきます。

## ワラビ絵の具

今回、関谷さんが受け持った授業は「野山・川を探検して何かを見つけて、何かを作ろう！」です。関谷さん自身、仕事上いろいろなものを発明し、数々の特許を所有していますが、ワラビを使って絵の具をつくるのは今回が初めての試み。ワラビの茎からとれる粘液に眼をつけ、絵の具の定着剤にするのです。

関谷さんが手掛けた商品

には、蜂蜜やクルミなど自然界に存在するものに工夫をこらし、生かしているものも数多くあります。もちろん開発には試行錯誤が付いて廻ります。「絵の具やクレオンは子どもたちも使うろえ。口に入れたりするわけだ。だすけ安全でなくちゃならねあそえ」。努力を惜しまない一途な研究魂を掻き立てるのは、子どもが無邪気に絵を書く姿がいつも思いつかぶからだといえます。

## 絵の具は夢を描くもの……

児童と一緒に野山に入り、背丈ほど大きくなったワラビを根こそぎ抜いてくる。川から拾ってきた石でワラビの茎をたたきながら粘液をしぼり出す。それを顔料や蜂蜜などと乳鉢ですりながら丹念に混ぜ合わせる。掛かること3時間あまり。

いよいよ「松代ワラビ絵の具」のでき上がりです。「絵の具は夢を描くもんだぞ。」と子どもたちに説く関谷さん。「あ、おじいちゃんも夢もかなってよかったよ」。子どもたちの肩をポンポン

とたたきながら一緒に完成を喜んでいました。

## 夢—工夫—実現

「決して優秀な子どもじゃなかったつけの」。子どもの頭を振り返る関谷さん。学校の授業も然ることながら、普段の生活や遊びのなかにも成功への多くのヒントが隠れているといいます。要は、それに気づき工夫を加えて実現させる努力が大切だと子どもたちに言い伝えます。

デスク仕事より、現場で汗を流すほうが好きなんだという関谷さんは今月、中国の会社に絵の具作りの指導に行きます。隣国の子どもたちに夢を描いてもらうためです。

